

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表集計結果（公表）

公表：平成30年3月

事業所名：小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」

チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点、方策等
環 境 ・ 体 制	○		<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守したスペースを確保しています。 ・療育では部屋を目的別に使ったり、2部屋に人数を分けて使ったりしています。 ・感覚統合室のトランポリンなど安全のために人数制限し交代で行うようにしています。 (部屋を有意義に使えるように配慮しています) ・できるだけ物を置かず安全で広くしています。 	
	○		<ul style="list-style-type: none"> ・刺激を与えず、課題に集中できる部屋と色々なものに触れられる部屋に分けています。 ・療育に集中できるように刺激になる物は見えないようにしています。 ・建物の内部はバリアフリー化しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンできる場所(個室等)の確保について検討していきます。 ・少人数での療育では、部屋を区切る等部屋の使い方を考えていきます。 ・子供の刺激になりやすいおもちゃを別室に移したりして改善しています。また、部屋の窓から見える外部の刺激に対して、部屋のカーテンを閉めるなどしていきます。
	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、皆で環境整備を行い、清潔にしています。 ・季節に合った壁面飾りをし、気持ちよく過ごせるようにしています。 ・掃除は職員が毎日行っています。 ・冬は感染症が流行する時期の対策(検温・手洗い・うがい等)をたよりや掲示板で保護者に伝えています。 ・その日の課題によって部屋を使い分けています。 ・活動に合わせ、遊具等の配置替えを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育で使うものや絵本棚等を別室に移動しています。

業務改善	④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参加しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いに、全職員の意見が反映できるようにしています。 ・振り返り、見直しながら、よく考え目標を立てています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を出しやすいように、職員を小グループに編成し意見が出せるよう工夫していきます。 ・各ガイドラインに基づき行っていきます。
	⑤保護者の意向を把握し、業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談やアンケート調査を実施しています。 ・施設内に目安箱を置き、利用者の意見把握に努めています。 ・保護者の要望等は一度預かり検討して戻しています。 	
	⑥職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修担当を置いて、研修を計画的に実施しています。 ・外部、内部研修で勉強する機会を設けています。 ・外部研修に参加した場合は、研修報告会を行い、職員内で共有するようにしています。 	
適切な支援の提供	⑦アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズと子供の状況が必ずしも一致するわけではありませんので、まずは保護者のニーズを聞き、今子供に必要な支援は何かを伝えるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画作成が遅滞なく行えるよう努力していきます。 ・様々なデータを集めた情報をもとに、その子の特性を把握し、療育内容やグループ分けの参考にしていきます。
	⑧支援計画に沿った支援が行われているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子供の特性に合った支援計画を作成し、支援を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づいた支援になるように変更していきます。
	⑨活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・前回の記録を見て同じにならないようにしています。 ・習慣化することのメリットもあるので、バランスを取りながら実施しています。 ・子供たちが楽しいと感ぜられる月案を考えています。 ・繰り返しで習得を目指すことも必要なので目的ある固定した療育も行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の流れは固定化し、子供たちが安心、安定できるようにしていますが、保護者の中には理解されていない方もいますので、理解されるよう説明していきます。

	⑩子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動の中でも、子供の状況により個別対応が必要な場合には、支援員を配置しています。 ・集団療育を行っていますが、必要に応じて個別療育も行っています。 ・個別対応が必要な子には、支援計画の中に入れていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より深く子供の状況を理解し、個別活動につなげていきます。 ・療育に入る前に、個々の目標を確認してから、療育活動に入れるようにしていきます。 ・集団療育を中心としているため、集団での関わりを中心に支援計画を立てています。
	⑪支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事前に当日の療育について内容等の確認をしています。 ・特別な関わりが必要なお子さんには事前に話し合い、関わり方の統一が図れるように心がけていきます。 ・療育に入る前には、職員間で支援の流れや担当等の確認を再度話し合っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や障がい等のグループ別の担当が固定されていないので、今後は担当制を導入し、効果的な指導ができるよう検討していきます。 ・内容については具体的に話し合いをしていきます。(今後は、担任制にしていきますので、打合せは行いやすくなります。)
	⑫支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・当日の療育終了後又は翌日には必ず話し合いの場を持ち、支援の振り返りや反省を行っています。その中で気づいた点、改善点、関わり方、保護者支援等が職員間で共有できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の振り返りは行われていますので、その意見を次の目標、支援課題に結び付けていきます。 ・支援に入っていない職員からも助言がもらえるよう検討していきます。 ・反省点を踏まえ、次の支援にはこのようにしていこうという目安も職員間で話し合っています。
	⑬日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・朝の打合せでは、支援の反省等、子供たちを把握するための話し合う時間を設け記録し、今後よりよい療育につなげていけるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録簿(日報)まではできていますが、今後は改善策も記録し次回につなげていきます。
	⑭定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必然性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とのモニタリングは6か月に1回行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も職員間の支援会議も定期的に行っていきます。
保 護 者 関 係 機 関	⑮保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の同意書を基に、必要に応じて連携を強化していきます。 ・保護者には、学校ではどのように取り組んでいるのか話を伺っていますが、直接(特別支援学校の迎え時以外)は行えていないので検討していきます。

と の 連 携	⑯日頃から子供の状況を保護者と 伝え合い、子供の発達状況や課題 について共通理解をもっているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・母子療育では、保護者とのコミュニケーションの中で普段の子供の様子を聞いています。 ・母子分離療育においては、保護者が送迎来園時に話を聞くようにしています。 ・療育の場やモニタリング等で伝え合い、共通理解できるようにしています。 	・これからも更に保護者とコミュニケーションをとっていきます。
	⑰保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・母子療育中では、母親の関わり方や支援の様子を見ながら、アドバイスや母親からの話を聞いたりしています。 	・心がけていますが、まだ不十分なので検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任	⑱定期的に保護者からの子育ての 悩み等に対する相談に適切に応じ、 必要な助言と支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的ではありませんが、常に保護者の様子を見て、それに応じた声かけを行い対応しています。 ・保護者、子供の立場になって考えて支援できるように努めています。 	・不十分な点もありますので、今後更に研修等を行い、職員のスキルアップを図っていきます。
	⑲保護者会等を開催する等により、 保護者同士の連携を支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者全員による保護者会はありませんが、行事や参観日、母子分離の機会などを通して、連携や情報交換ができるようにしています。 ・母子分離療育の際には、母親同士で交流や情報交換をしています。 ・就園、就学に向けての説明会や母子分離療育等で、保護者同士関わりをもてる時間を提供したりしています。 	
	⑳子供や保護者からの相談や申入れ について、対応の体制を整備すると ともに、子供や保護者に周知し、 相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・施設長、園長、児童発達支援管理責任者に伝えるとともに、職員間でも情報の共有を行い適切に対応しています。 	
	㉑定期的に会報等を発行し、活動 概要や行事予定等の情報を保護者 に発信しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・園のたよりに、行事予定表や家庭の療育に参考となる情報を掲載し、2ヶ月に1回発行しています。また、掲示板も活用し周知しています。 	

	②②個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			職員には徹底していますが、書類の保管方法等について検討していきます。
	②③保護者との意思の疎通や情報伝達を実践しているか	○		・保護者から得た情報は職員に伝え共有し、同じ対応がとれるようにしています。	
非常時等の対応	②④緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・緊急時対応マニュアルは職員に周知しています。	・計画に基づき定期的に行っていきます。 ・防犯マニュアル、感染症対応マニュアルについては、まだ不十分点もありますので、今後検討していきます。
	②⑤非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	○			・訓練は実施していますが、計画的とは言えないので、後は訓練計画表を作成し実施していきます。
	②⑥事前に服薬や予防接種、発作等の状況を確認しているか	○		・契約時に現状調査票を記入していただき、職員で把握しています。	
	②⑦ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・会議等では情報を職員間で共有していますが、事例集は作成してないので、今後検討していきます。
	②⑧虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・職員研修会は年に数回行っており、職員一人一人の意識を高めています。 ・内部研修、外部研修に参加し意識を高めています。適切な対応については、職員間で共通の認識がもてるように随時話し合っています	
	②⑨どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、支援計画に記載しているか		○		・検討し、必要に応じて記載していきます。